

JR東海労ニュース

No.1667

2012年2月22日

JR東海労働組合

2012JR春闘を統一要求・統一闘争で闘おう！

2012年賃金引き上げ、夏季手当及び諸要求に関する第2回団体交渉開催！

現時点での会社見解が明らかにされる！

社員の努力に応えない不誠実な回答を許さず闘おう！

2月22日、本部は2012年賃金引き上げ、夏季手当及び諸要求（申第24号）に関する2回目の団体交渉を開催し、会社が「現時点における見解」を示しました。

会社は、賃金引き上げと夏季手当について「議論の上決定する」としましたが、JR東海労の大きな要求である「専任社員の雇用条件撤廃」については「再雇用の対象外となる基準を撤廃し、希望者全員を無条件で再雇用する制度とする考えはない」と回答しました。今国会で高齢者雇用安定法の雇用条件の撤廃などが議論され、改正されようとしているにもかかわらず、会社はこのような回答をしているのです。まさに時代に逆行するJR東海といわざるを得ません。

他にも「65歳定年」や「54歳原則出向の廃止」、専任社員の労働条件改善、諸手当の増額などの要求についても、全く誠意のない回答が示されました。

東日本大震災を乗り越え、会社に貢献してきた社員の努力に全く応えず、60歳以降の雇用も真面目に考えようとしない会社に我慢も限界です。

会社の不誠実な回答を許さず職場から2012JR春闘を闘い抜きましょう！次回第3回団体交渉は2月29日です。

**まさに時代に逆行するJR東海！
「再雇用の対象外となる基準は撤廃しない」**